

おもかげ WebCome!

『魅力ある住みよい明るいまち面影』を目指して 《第2号》

今回の**6**枚：地区内を楽しみながら、たくさん歩いたよ



アップ日 令和7年7月30日 発行：面影地区まちづくり運営協議会総務部

6・7月実施のまちづくり事業

*ちまきづくり 6月1日(日) 生涯学習部事業

子どもたちに伝統的なお菓子づくりの体験をしてもらおうと、「ちまきづくり」を開催したところ、子ども23名と保護者9名の参加がありました。(申し込み多数で、一部お断りをして申し訳ございません。)

先生には、地区婦人会(あゆみの会)の方7名にご協力いただき、笹とりや下準備までお世話になりました。はじめに、「ちまきについて」笹の葉の使い方や地域によって違いがあることなどの説明をききました。その後、各テーブルに分かれ粉の練り方や笹のまきかたを丁寧に教わりました。(今回は、3枚の葉で一つをまきました)初めて経験する児童と保護者も楽しんで作りあげました。その後の蒸し時間は「以心伝心ゲーム」をして、出来上がりを待ちました。そして、出来上がったちまきを試食し、全員から「美味しい」や「笹のにおいがする」など喜びの声がたくさんあがり、保護者からは「来年も参加したい」との感想があり、ぜひ来年も計画にいたいところ です。



*町内会おでかけスタンプラリー 6月7日(土) 健康福祉部事業

健康福祉部の最初の事業として、地区内を歩いてまわるスタンプラリーを計画しました。参加申し込み者が子ども12名、大人24名でしたので6つにグループ分けをしました。コースは、面影地区公民館を出発し、正蓮寺公民館、雲山公民館、面影二丁目公民館、東今在家集会所、桜谷団地町内会館をチェックポイントとして、クイズや給水、休憩場所とし、最後に面影地区公民館に戻ってくる約5kmのコースとしました。当日は、部会内の体育会や健康づくり推進委員会のメンバーをはじめ、自治会や区長会からも協力いただき、交通整理等参加者の安全を図り、暑い中でしたが全員が完歩することができました。

自分も一緒に歩きましたが、普段車でしか通っていないため気づかない、きれいな家や庭、歩くのには少し危険な場所など、様々なことに気づくことができました。



＊町区対抗 親睦グラウンドゴルフ大会 6月21日(土) 健康福祉部事業

健康福祉部、今月2つめの事業としてグラウンドゴルフ大会を桜ヶ丘中学校のグラウンドで実施しました。開会式では、まず令和5年大会の優勝：新南町内会、準優勝：桜谷口町内会、第3位：正蓮寺町内会からトロフィーを返還していただき(昨年大会がなかったため、長い期間すみません)、競技説明をうけ、スタートしました。今回は、各町内会1チーム5名の2ラウンド制にし、5名揃わなかった町内の方は個人戦での参加としたところ、9町内会と個人2名の計47名の方にご参加いただき、熱戦が繰り広げられました。

＜団体順位＞

優勝：桜谷団地(213)	準優勝：新南(219)	第3位：桜谷口(221)
第4位：面影一丁目(228)	第5位：東今在家(229)	第6位：正蓮寺(230)
第7位：パークタウン(240)	第8位：大杓一(242)	第9位：新桜谷団地(263)

＜個人順位＞ 名前・敬称略

優勝：垣内(面影一) 準優勝：泉谷(桜谷口) 第3位：山崎(桜谷団地)
4：福山(桜谷団地) 5：田北(面影一) 6：谷口(パーク) 7：横山(桜谷団地) 8：林(新南)
9：清水(大杓一) 10：内藤(桜谷口) 11：中島(新南) 12：有本(東今在家) 13：井関(正蓮寺)
14：田中(パーク) 15：須崎(東今在家) 16：広川(新南) 17：田村(新南) 18：有本(東今在家)
19：池澤(正蓮寺) 20：竹内(新南) 21：中尾(桜谷口) 22：小倉(桜谷口) 23：河戸(雲山)
24：岩本(桜谷団地) 25：中島(正蓮寺) 26：中山(面影一) 27：大石(正蓮寺)
28：木下(新桜谷団地) 29：横山(桜谷団地) 30：井関(正蓮寺) 31：佐々木(東今在家)
32：渡邊(面影一) 33：橋本(桜谷口) 34：坂口(東今在家) 35：太田(大杓一) 36：魚寄(パーク)
37：藤田(雲山) 38：清水(大杓一) 39：中村(大杓一) 40：稲田(大杓一) 41：坂田(新桜谷団地)
42：石田(新桜谷団地) 43：出井(パーク) 44：浦木(パーク) 45：坂田(新桜谷団地)
46：谷口(面影一) 47：高田(新桜谷団地)

熱戦の後は、ホールインワンゲームと閉会式を行い、終了しました。

運営には、自治会をはじめグラウンドゴルフ同好会の方々にもご協力いただき、ありがとうございました。



＊初夏のフラワーアレンジメント教室 6月24日（火） 生涯学習部事業

今回、アトリエローリエの大久保智佳子さんを講師に迎え、夏の生花をつかったフラワーアレンジメント教室を開催したところ、10名の方が参加してくださいました。

まず使う花（10種類程）の名前を教えてください、花器の大きさにあわせて同じ花でも長さを変えたり、挿す場所を変えたりと、360度どこから見ても楽しめるように活けていくのが特徴で、花器をくるくる動かしながらアレンジしていききました。

同じ花材なのに、活ける人により仕上がりがいっしょで、どなたのも素敵な作品になりました。最後に、管理方法や水やりの仕方などを聞いて解散となりました。



＊消費者トラブルから身を守るための対策講習会 7月17日（木） 人権防災安全部事業

人権防災安全部の安全・安心啓発講演会として、「消費者トラブル」についての講習会を開催したところ、15名の方が参加されました。講師には、鳥取市消費生活センターの安本さんにお越しいただき、まずDVD「魔法少女うさ美の賢い消費者になる方法」みて、実際に鳥取市に寄せられた相談事例についての話とその対策方法について教えていただきました。

点検商法、訪問購入、SNS 広告による定期購読、実在する事業者からの未納料金請求、警察を名乗る詐欺など本当にいろいろな消費者トラブルが流行っていますので、皆さんも気を付けましょー！！

《注意すること》 ＊個人情報教えない ＊その場で契約しない ＊儲け話は疑う

＊迷惑電話防止機能付き電話機や留守番電話を利用する ＊すぐ相談する



＊生涯学習部事業の「面影サマースクール」と「子どもお出かけ教室」については、次号でお伝えします。

発見!!

地域が運営している学校カフェ「おもかふえ」



皆さん知っていますか？

面影小学校で地域の方が運営している「おもかふえ」があります。

気楽にどなたでも子どもたちの様子を見ることができます。

「おもかふえ」では、児童との交流を始め、大人同士がたわいのないおしゃべりができる場所です。

敷居が高いと思われがちですが、面影小学校の教職員は「いつでも WELCOME!!」



ねらい

◎ 目指す学校像 「人が育つ地域の学校」

平成29年度に「コミュニティ・スクール」導入

地域創造学校運営協議会制度導入

地域・保護者・学校の協働活動づくり(学校教育への参画)

地域貢献活動・公民館行事への参加

地域の各種団体との交流、関係諸機関との連携強化

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

これらのねらいの実現に向け学校と地域・保護者とのつながりを作る場

「おもかふえ」は毎月 1 回実施 火曜日または木曜日に開いています。

★火曜日→ホッピー集会(縦割り班活動)

◆木曜日→地域人材によるボランティア活動、自由参観等を計画

日程

8月 なつやすみ

◆9月11日(木) ★10月 7日(火)

◆11月13日(木) ★12月 9日(火)

時間

午後1時～1時間程度

内容によって時間の変更もあります



「おもかふえ」がきっかけで、参加メンバーは、学校支援ボランティアとして小学校の授業に参画し、たくさん子どもと触れ合い、職員と交流を深めています。

小学校の活動には、子どもたちのために様々な地域支援が必要です。支援をすることで学校、地域、家庭でこんないいことがあります♪

- 👍先生方は、地域の知らないことを学べ、スキルアップができます。
- 👍地域の皆さんは、地域の先生として自分の得意分野がずっと活かれます。
- 👍子どもたちは、知識が豊富になり、たくさん交流の場所が見つかります。

etc・・・

地域のおじちゃん先生（おじいちゃん先生）、おばちゃん先生（おばあちゃん先生）が小学校で
大活躍!!

Q 地域の人たちです。どなたかわかりますか？

1問 1年生 2年生が地域に探検に出かけました。安全のために見守りをしてくれています。



2問 1年生から6年生の水泳指導をしてくれています。児童のプールの見守りをしてくれています。

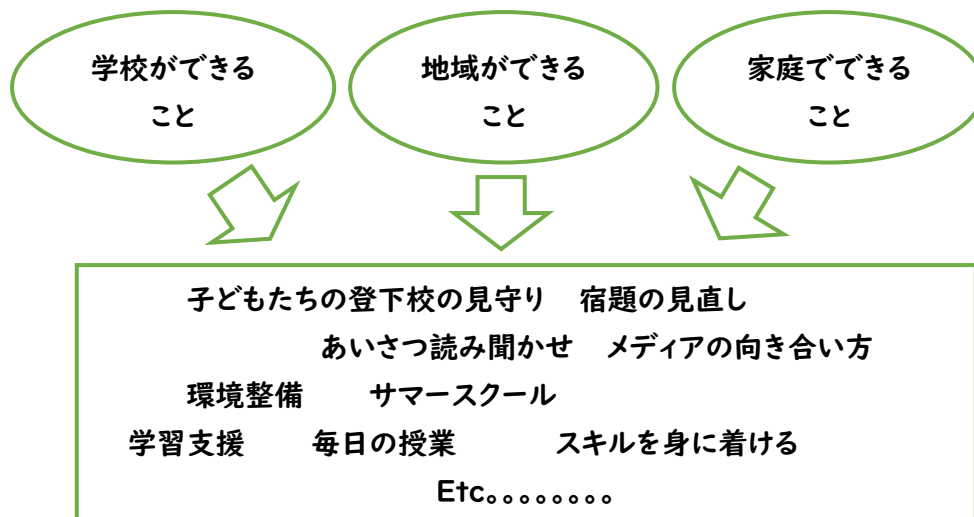


3問 朝のあいさつ運動、学校の環境整備、一緒に付き添って下校してくれています。



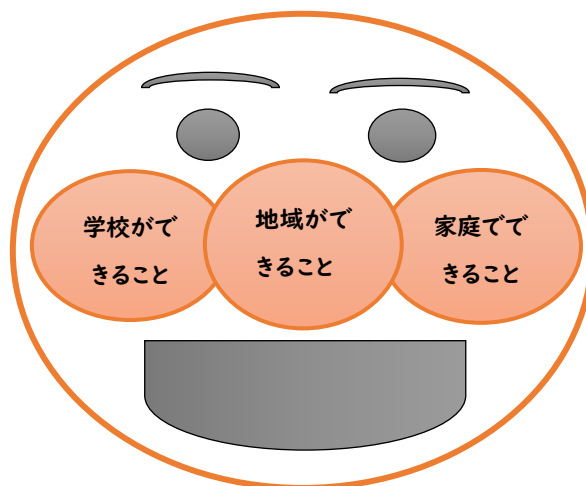
今年度からたくさんの地域の方が学校支援ボランティアに登録し、活躍しています。
皆さんの眠っている力を発揮しませんか!!

- ・ミシンボランティア ・調理実習ボランティア ・かけ算九九ボランティア
- ・野菜栽培ボランティア ・読み聞かせボランティア ・まち探検ボランティア
- ・昔遊びボランティア ・プール見守りボランティア



それぞれの役割を整理し、助け合いながら役割を分担することで、3つの丸が均等になり、地域全体で子どもたちを見守ることができるのではないのでしょうか。

目指せ!!正義の味方「アンパンマン[㊤]」



そして……

それぞれの立場で、新たな自分発見をしてみたいでしょうか。

地域の大人が輝いています♪

子どもたちが微笑んでいます♪

学校(教職員)が喜んでいます♪



シリーズ 面影探訪①

面影山は貴重な「日本百米(べい)山」

面影郷土史研究会 大西 孝雄

面影地区の住民にとって地域のシンボルである面影山は、標高がジャスト 100m のちょっと面白い山です。国土地理院の地図にも確かに 100m と載っています。そこで、その他にも標高 100m の山がないか国土地理院の HP などでも検索してみましたが、ヒットしたのは我が面影山と高知市にある筆山の二か所でした。単純にそのような統計がないだけのことでしょうが、実際標高ジャスト 100m の山が日本にどれだけあるのかが興味が湧きます。ジャスト 100m・500m・1000m といったジャンルの山ガイドもあると楽しいですね。

面影山は、標高 100m の山なので、「百米(メートル)山」とも書けます。そうするとちょっと遊び心が湧き、富士山や大山など名峰の集まり「日本百名山」に対抗して、100m の山の集まりを「日本百米(べい)山」と勝手に命名するのも一興かと。面影山は、見方によれば「日本百名山」にも劣らないユニークな「日本百米山」の一つなのです。

令和 7 年 3 月 15 日、面影山が突如脚光を浴びました。NHK のラジオ第一で毎週土曜日、朝 8 時 5 分から全国放送している「石丸謙二郎の山カフェ」(第 328 回)に面影山が選ばれ紹介されたのです。番組のテーマは「放送 100 年 山の 100」。NHK のラジオ放送が始まって 100 年の今年、100 という数に関係が深い山を取り上げる企画で面影山はズバリ標高 100m。そこに白羽の矢が立ったのです。わずか 10 分間、多分に急(せ)かされながらの紹介でしたが、面影山の歴史や自然についてパーソナリティーの石丸謙二郎さんと生放送で語り合えました。放送終了後、県内外のリスナーからの問い合わせや感想をかなりの件数いただきました。実際に面影山に登りたいという要望も複数の団体から頂きました。

面影山は、山カフェのリスナーの心も捉(とら)えた面白い山なのです。その魅力は一言では語れません。以前から、地元の歴史愛好家や郷土史研究会の方々が、面影山を中心としてこの面影の歴史や文化、自然などについて多くの研究を積み重ねておられます。私はそれらを基に、面影山や面影地域の面白さや自慢をほんの一部でも皆様にお伝えできたらと思っています。シリーズ「面影探訪」への応援をどうかよろしく願いいたします。

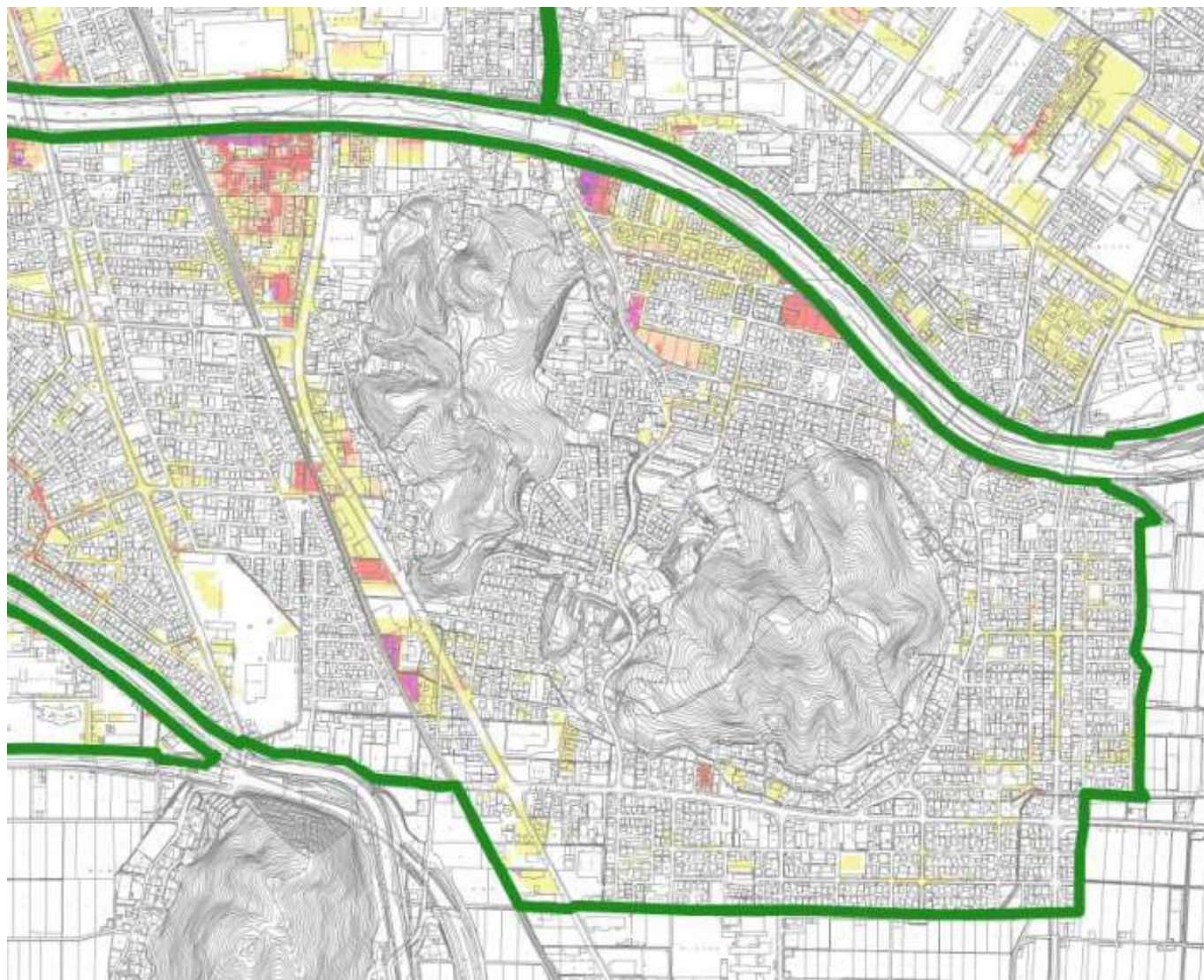


シリーズ みんなで減災①

減災とは、災害による被害を最小限に抑えるための取り組みのことです。防災が「災害を未然に防ぐ」ことを目指すのに対し、減災は「災害は起こるもの」という前提で、被害を軽減することに重点を置きます。特に日本は、自然災害が多い国ですし、近年の地球温暖化の影響で、異常気象による被害が増加しており、減災の重要性はますます高まっています。

減災は、個人、地域社会、行政が一体となって取り組むことで、より効果を発揮しますので、『みんなで減災』というタイトルにし、個人・地域に役立つ減災情報を毎号発信していきます。

= 面影の浸水想定について =



鳥取市 雨水出水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】

1. 説明文

- ① この図は、鳥取市における下水道雨水計画区域を対象として、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による雨水出水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- ② この雨水出水浸水想定区域は、指定時点の鳥取市の下水道整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- ③ このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる想定最大規模降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破壊または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際と異なる場合があります。
- ④ このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を想定される最高水位に設定しています。

2. 基本事項等

- ① 作成主体 : 鳥取市
- ② 指定年月日 : 令和7年3月31日
- ③ 告示番号 : 鳥取市告示第117号
- ④ 指定の根拠法令 : 水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2
- ⑤ 指定の前提となる降雨 : 令和5年8月15日降雨のピーク時に時間最大雨量130mmの降雨、流域全体に24時間総雨量292.5mmの降雨があった場合、放水先河川の水位は想定される最高水位（堤防高）、ポンプ場は放水先の河川の水位が計画高水位を上回った場合に運転停止
- ⑥ 境界条件

凡 例

- 指定区域
- 0.3m未満の浸水
- 0.3m以上0.5m未満の浸水
- 0.5m以上1.0m未満の浸水
- 1.0m以上3.0m未満の浸水

この浸水想定区域図は、鳥取市がつくった最新のマップです。川の氾濫ではなく、降雨により内水氾濫（大雨や集中豪雨により、下水道や排水施設の処理能力を超えた雨水が、下水道や水路からあふれ出し、道路や住宅などが浸水する現象）が発生した場合に想定される水深をあらわしたものです。

降雨の想定は、一昨年のお盆に大雨特別警報が発令した時の降雨量を前提としてシミュレーションをしています。（あくまで想定ですので、水深が実際と異なる場合があります）

《このマップで何をするのか？》

①自宅や勤務先、学校などの危険度を確認する。

＊まずは自宅の浸水の深さを確認し、避難が必要かどうかの判断材料とする。

- ・ 3 mの浸水区域 → 避難する
- ・ 1 mまでの浸水区域（家が2階建て以上） → 避難するほうがいいが、2階に避難可能
- ・ 1 mまでの浸水区域（家が平屋） → 避難する

＊自宅から職場や学校までの経路が浸水想定区域に含まれているかを確認する。

②避難場所・避難経路の確認と検討をする。

＊自宅からの避難場所がどこにあるのか、またそこまでの安全な避難経路を事前に確認する。

＊浸水想定区域にかかっていない、あるいは浸水深が浅い経路を選ぶ。途中にアンダーパスのような通行不能となる場所がないか把握しておく。

＊家族で避難経路や集合場所を話し合っておく。

③避難判断・行動の参考とする。

＊警報や避難情報が発表された際に、浸水想定区域図と照らし合わせ、自身のいる場所の危険度を判断する材料とする。（外出時）早めの避難行動を心がける。

④その他

＊想定される浸水深に応じて、水害に特化した防災グッズを準備する。

＊土のうの設置、家財の2階への移動など、家屋の浸水対策を検討する。

＊浸水リスクが高い場合、水害補償が付帯している火災保険への加入や見直しを検討する。

＜面影地区内の指定緊急避難場所（屋内）＞

名 称	洪水	土砂	地震	津波	備 考
面影小学校	△	×	○	○	洪水時、2階以上に避難
面影地区公民館	△	○	○	○	洪水時、2階以上に避難
桜ヶ丘中学校	△	○	○	○	洪水時、2階以上に避難

＜面影地区内の指定緊急避難場所（屋外）＞

名 称	洪水	土砂	地震	津波	火災	備 考
面影小学校グラウンド	×	×	○	○	×	
大樋井公園	×	○	○	○	×	
大杓公共空地	○	○	○	○	×	大杓緑地
正蓮寺公園	×	○	○	○	×	
桜谷南公園	×	○	○	○	×	
桜ヶ丘中学校グラウンド	×	○	○	○	○	
桜谷公園	×	○	○	○	×	
面影二丁目公園	×	○	○	○	×	（旧）大杓公園

《浸水時の避難について》

①避難の基本原則「垂直避難」と「水平避難」

- *垂直避難（屋内安全確保）とは、自宅や堅固な建物の2階以上に移動して命を守る方法です。短時間での避難が困難な場合や高齢者や要配慮者がいる場合に有効な選択肢となります。ただし、川の近くなどで建物自体が流される可能性がある場合は、危険です。
- *水平避難（立ち退き避難）とは、浸水想定区域外の安全な場所へ移動する方法です。原則としてはこちらが優先されます。浸水の恐れがある段階で、まだ避難が可能であれば、速やかに安全な場所へ移動しましょう。

②「空振り」を恐れずに

- *避難指示が出てからでは手遅れになることもあります。危険を感じたら、あるいは避難情報が発表されたら、ためらわずに避難を開始しましょう。
「今回は大丈夫だろう」「自分のところは大丈夫」という正常性バイアスは危険です！
- *夜間や浸水が始まってからでは、視界が悪く、足元も危険なため、避難が非常に困難になります。できる限り明るく、浸水する前に避難しましょう。

③浸水開始前（まだ避難が可能な段階）

- *細めに情報を集めましょう。テレビ、ラジオ、防災無線などで最新の気象情報、河川水位情報、避難情報を確認します。指定緊急避難場所も全てが開設しているわけではありません。その時と場合により、鳥取市が指定して開設します。
- *非常持ち出し品をリュックサックなどにまとめ、すぐに持ち出せるようにしておく。
- *家族が違う場所にいる場合は、事前に決めておいた連絡方法や集合場所を確認しておく。
- *避難準備・高齢者等避難がでた場合、高齢者や乳幼児、障がいのある方など、避難に時間がかかる方は、早めに避難を開始しましょう。
まずはじめに、若葉台地区公民館が自主避難所として開設されます。
- *避難指示（緊急）が鳥取市から発令されたら、直ちに避難行動を開始する。原則として、指定された避難場所への水平避難を優先する。

④浸水が始まった場合（既に周囲が浸水している状況）

- *無理な移動は避けましょう。水深が膝丈を超えると、歩行が非常に困難になり、流される危険性が高まります。無理に歩いて避難するのはさけましょう。
- *道が冠水していると、水路やマンホールの位置がわからなくなり、転落する危険性がある。
- *冠水した道路で車を運転すると、エンジンが停止したり、水圧でドアが開かなくなり閉じ込められる危険性があります。
- *水平避難より垂直避難を検討しましょう。自宅の2階や近隣のより高い建物の上層階に移動します。またその時、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓も閉める。
- *垂直避難した場合、浸水が収まるまで安全な場所で待機し、無理に移動しようとせず、救助を待ちます。
- *できる限り複数人で行動し、助け合える体制をとる。

★おわりに

アップ日ギリギリにうれしいニュースが入りました！

前号で少し紹介した、環境美化部が中心となり「とっとり県民参加の森づくり推進事業」という鳥取県の補助金に申し込み、7月4日（金）に竹間会長、大西部長、宮根主事とで倉吉まで行き、プレゼン発表をしました。（プレゼン会場の部屋に入ったら、審査員が15人程おられたそうですww笑）

その結果、見事 **採択** されました！！

なので、60万円近い補助金を受けることができ、これを基に面影山の整備や事業をすすめていきます。

※第3号は、**9月29日（月）**にアップ予定です。